

# 自治体DX推進

## ノーコード開発で迅速なシステム実装とコスト削減

従来のような、カスタマイズを前提とした業務特化型のGISシステムでは、ユーザーニーズの変化やテクノロジーの進化に対応できません。

1年後、2年後、3年後と、様々なGAPがうまれてしまいます。

ArcGISプラットフォームは、変化するユーザーニーズやテクノロジーの進化に、迅速かつ継続的に、対応していくことが可能です。

組織内部の業務効率化・高度化、迅速かつ合理的な意思決定などを支援するとともに、地域課題解決のための、住民や外部機関との情報共有プラットフォームとしても活用されています。

### ④アジャイル プロセスによる迅速性と継続性

### ③ユーザーニーズに対して、業務最適化&人材育成で対応

### ②パッケージ標準アプリ+ノーコーディングによるシステム実装

### ①ArcGISプラットフォームの採用

ユーザーニーズ  
の変化

テクノロジー  
の進化

時間 (年)

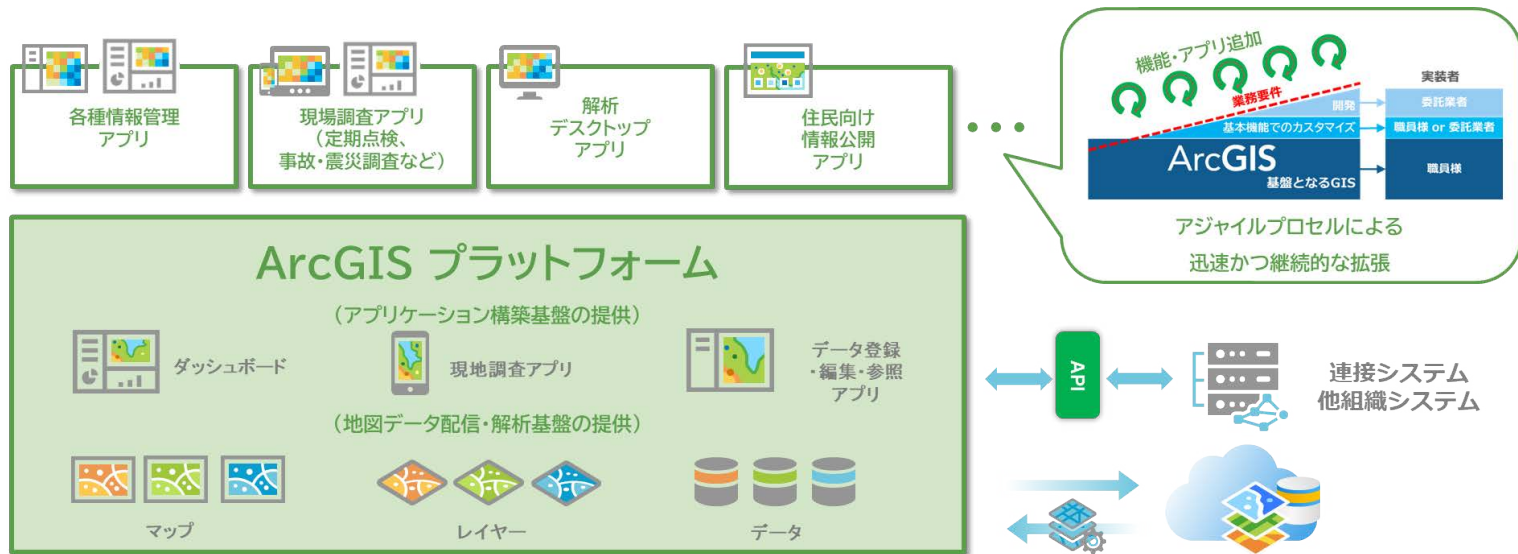
誰でも簡単な操作で、プログラミングの知識がなくても業務利用できる、アプリ群をご用意



# ArcGISプラットフォーム

全庁でさまざまな分野で汎用的に利用が可能

地理情報に関わるデータ管理やアプリ構築の基盤を一元化することにより、各種アプリケーションを迅速かつ継続的な拡張が行えるとともに、他システム連携などもシンプルに実現します。



## システム実装例

### GISを活用したインフラ損傷通報システム 「KitaQ 市民レポート」の導入（北九州市さま）

いつでも簡単、スマートフォンで通報が可能  
～ GISを活用した市民参加型インフラ通報システムの構築～

#### 課題

- ・ 正確な通報情報の把握が困難
- ・ 電話での通報受付時間の制約

#### 導入効果

- ・ 市民の通報の手間および担当職員の窓口業務の負担軽減
- ・ 正確な通報情報の収集・可視化

### 「長野県インフラデータプラットフォーム」による 災害時の初動対応における迅速な情報共有（長野県さま）

被災地から投稿した情報をクラウド上でリアルタイムに共有  
パートナーコラボレーションによる組織間連携を実現

#### 課題

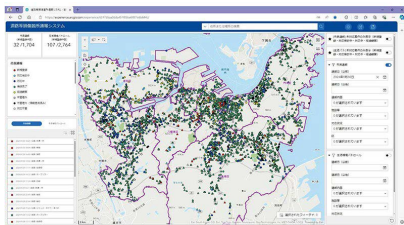
- ・ 災害発生時の迅速な情報共有
- ・ 外部組織との情報共有

#### 導入効果

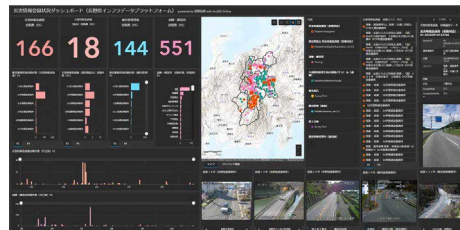
- ・ 被災状況の迅速な情報共有
- ・ 応急対応を実施する組織とのリアルタイム情報共有
- ・ ドローンと 3D マップによる立入危険区域の概況把握と簡易計測



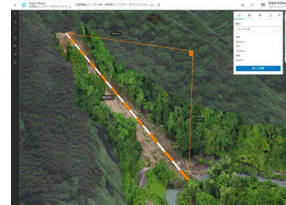
通報フォーム



管理用マップ



災害情報ダッシュボード



災害情報ビューアー  
3D版

